

医療・介護従事者のための新興感染症感染予防講座
(外来感染対策向上加算の算定要件に係るカンファレンス)
(高齢者施設等・障害者支援施設等感染対策向上加算の算定要件に係る研修)

日 時 令和7年1月12日(日) 10:00~12:00

場 所 北海道医師会館8階会議室 (Web併用)

司会 北海道医師会

1. 開 会

2. 講 義「新興感染症発生時の初動対応・体制整備について」

講 師 札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 教授
北海道医師会 常任理事 高橋 聡 先生

3. 動 画「個人防護具の着脱について」

4. 演 習「手指衛生について」

講 師 札幌医科大学附属病院感染制御部 感染管理認定看護師 中村 広士 氏

5. 質疑応答

6. 閉 会

主催／北海道医師会 共催／北海道 協力／北海道看護協会

新興感染症発生時の 初動対応・体制整備について

北海道医師会
札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

高橋 聡



初動対応って・・・



初動対応って・・・

- 感染症発生した時の対応ですね・・・？



初動対応って・・・

- 感染症発生した時の対応ですね・・・？
- ではなくて、今から感染症発生時までの対応です



初動対応って・・・

- 感染症発生した時の対応ですね・・・？
- ではなくて、今から感染症発生時までの対応です
- 个人防护具の着脱法を習得（繰り返しが効果的）
 - ✓ 自分を護る、相手を護る
- 施設として対応力を維持していく



初動対応って・・・

- 感染症発生した時の対応ですね・・・？
- ではなくて、今から感染症発生時までの対応です
- 个人防护具の着脱法を習得（繰り返しが効果的）
 - ✓ 自分を護る、相手を護る
- 施設として対応力を維持していく

発生動向の把握

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

7

患者の発生動向の把握

- 全数把握から定点把握へ移行
 - ✓ 道立衛生研究所（感染症情報センター）
 - ✓ 週1回
 - ✓ 定点機関からの報告数を公表

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

北海道感染症情報センター <https://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html> 8



流行状況を把握する

- 定点機関からの報告数で把握する
 - 以下の発生事例・件数は把握不可
 - ✓ 院内発生例
 - ✓ 施設内発生例
 - ✓ 定点期間以外医療機関受診例



流行状況を把握する

- 定点機関からの報告数で把握する
 - ✓ 増減などの傾向の情報を得るのみ

今からの初期対応

今からの初期対応

●感染症流行時対応の予行

- ✓ 適切なマスク装着、新興感染症流行時を仮定した対応、等

●備蓄

- ✓ マスク・ガウン・フェイスシールド・グローブ等

●ワクチン接種の体制

- ✓ 抗体検査・接種場所・体制・部署間の連携（入手・接種）



今からの初期対応

- 感染症流行時対応の予行
 - ✓ 適切なマスク装着、新興感染症流行時を仮定した対応、等
- 備蓄
 - ✓ マスク・ガウン・フェイスシールド・グローブ等
- ワクチン接種の体制
 - ✓ 抗体検査・接種場所・体制・部署間の連携（入手・接種）



今からの初期対応

- 感染症流行時対応の予行
 - 適切なマスク装着、新興感染症流行時を仮定した対応、等
 - ✓ 北海道医師会主催の研修会
 - ✓ 札幌医科大学・北海道主催の研修会
 - ✓ 感染対策向上加算連携施設でのカンファレンス
 - ✓ 感染対策向上加算
 - ◆ 「介護保険施設等から求めがあった場合には、当該施設等に赴いての現地指導等、感染対策に関する助言を行うとともに、院内感染対策に関する研修を介護保険施設等と合同で実施することが望ましい」



新興感染症感染予防講座

- 医師（札幌医科大学）
- 看護師（ICN）



新興感染症感染予防講座

- 新興感染症感染予防講座
- ✓ 継続中（年2回程度）



今からの初期対応

●感染症流行時対応の予行

- ✓ 適切なマスク装着、新興感染症流行時を仮定した対応、等

●備蓄

- ✓ マスク・ガウン・フェイスシールド・グローブ等

●ワクチン接種の体制

- ✓ 抗体検査・接種場所・体制・部署間の連携（入手・接種）



今からの初期対応

●備蓄

- ✓ マスク・ガウン・フェイスシールド・グローブ等

◆ 感染症発生から、週単位で凌げるか？

◆ コロナ発生時の事例を活かせるか？

◆ 定期的な在庫確認と補充計画の策定



今からの初期対応

- 備蓄

- ✓ マスク・ガウン・フェイスシールド・グローブ等

- ◆ 回転させる

- ◆ 湿度管理（カビが生えたら使えません・・・）

体制整備



今からの初期対応

- 指揮系統の明確化
 - ✓ 誰が責任者で、誰が担当者か？
 - ✓ 各部署との連携体制
 - ✓ 関係機関との連携体制
 - ✓ 役割分担
 - ✓ 対応手順



平時の備え

- 病院長・院長・所長・看護部長・他⇒ボス（**大方針を示す**）
- 感染制御・感染管理担当部署⇒リーダー（**詳細を指示する**）



感染伝播が判明した後

- 発生・探知・報告⇒⇒⇒茫然自失・判断不可
- ◆客観的に判断可能な第三者の専門家に支援要請



感染伝播が判明した後

- 部署等の責任者は情報を共有する
- ✓ 対策室に行けば、**全ての情報を得られる!**



感染伝播が判明した後

- 施設の機能維持と機能縮小（⇒人手は？）
- ✓ 外来・リハビリ・デイサービスは可能？（⇒閉じた時の対応）
- ✓ デイサービスは可能？（⇒閉じた時の対応）
- ✓ 掃除・ごみ収集は可能？（⇒業者さんと協議）
- ✓ 給食は可能？（⇒皿は？盆は？配膳は？回収は？）
- ✓ クリーニング（リネンなど）は可能？（⇒消毒方法は？）
- ✓ 自販機の補充は可能？（⇒業者さんと協議）



情報収集と連携

- 感染状況の把握
- 助言を受けられる体制の整備



検査

- 検査結果の解釈
 - 陰性であれば、感染していない？
 - ✓ 多くは感染していない



検査

- 検査キットの確保
 - ✓ 感染拡大を未然に防ぐため



検査の特性

- 検査結果の解釈
 - 陰性であれば、感染していない？
 - ✓ 多くは感染していない
 - ✓ 再検査（繰り返す検査）で陽性となる可能性



検査の特性

- 検査結果の解釈
 - 陰性であれば、感染していない？
 - ✓ 多くは感染していない
 - ✓ 再検査（繰り返す検査）で陽性となる可能性
- ◆ 症状の持続による検査実施

まとめ

- 平時の準備と情報共有
 - ✓ 今できることをしておく
 - ✓ 同じ情報を容易に得ることができる状況

医療・介護従事者のための新興感染症予防講座

「手指衛生」

札幌医科大学附属病院 感染制御部

感染管理認定看護師 中村 広士

2025.1.12

予防：平時からの感染対策

標準予防策の実施が重要

- ① マスクを正しく装着する
- ② ケア前後、1ケア毎に手指衛生を行う
 - ・ 食事介助前後、排泄介助(おむつ交換を含む)前後、医療処置前後 など
- ③ 手袋やビニールエプロンは患者ごと、ケア毎に交換する
 - ・ 手袋やビニールエプロンを外したら手指衛生を行う
- ④ 入所者、通所者の手指衛生
 - ・ 排泄後や食事前、外出後など



手指衛生の種類

手指衛生は感染対策の基本であり、患者への交差感染と医療従事者の職業感染を防止します。

流水と石鹼による手洗い

手が目に見えて汚染している(血液・体液等)場合
アルコールに抵抗性のある微生物(CD・ノロウイルスなど)
殺菌効果 15秒で1/10、30秒で1/100まで菌量が減少



擦式消毒剤による手指消毒

手が目に見えて汚染していない場合
殺菌効果 15秒 : 1/10000~100000



アルコールによる手指の消毒手順

病室入口、オーバーテーブルに設置されている
アルコール性手指消毒剤はご自由にお使いください。

- 

1 消毒液を適量(約1mL)手のひらにとる
- 

2 はじめに両手の指先に消毒液をすりこむ
- 

3 次に手のひらによくすりこむ
- 

4 手の甲にもすりこむ
- 

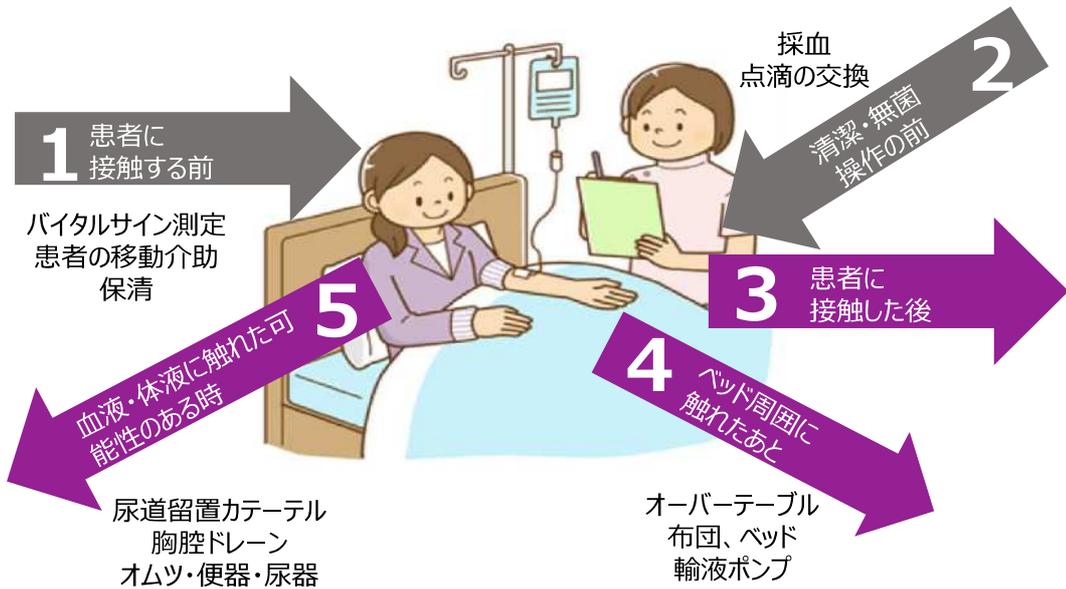
5 指の間にもすりこむ
- 

6 親指にもすりこむ
- 

7 手首も忘れずすりこむ
乾燥するまでよくすりこむ

ここまでが一連の流れです。15秒以上かけて行って下さい。

5つのタイミング



WHO : My 5 Moments for Hand Hygieneより改変

手袋を外した後の手は汚れています

- ・ピンホールは約1枚/100枚
- ・ケア中に手袋が破損する
- ・汚染部位に触らず手袋を脱ぐのはとても難しい

↓

手袋を外したあとは必ず手指衛生を行う

まとめ

- ◎ 新興感染症の予防のためには
平時からの標準予防策
- ◎ 自身が感染しない、他者に広めないための行動



- ・触れる前、触れた後に手指衛生
- ・手袋を外した後に手指衛生
- ・マスクを正確に着用する



引用・参考文献

- 1) 札幌医科大学附属病院：病院感染対策マニュアル
- 2) 日本環境感染学会：教育用プレゼンテーション資料
- 3) 満田年宏：医療現場における手指衛生のためのCDCガイドライン，2003
- 4) 堀 賢：感染対策実践マニュアル 第3版，じほう，2015
- 5) 日本看護協会：看護補助者活用推進のための看護管理者研修テキスト，平成25年3月
- 6) 早川佐知子：看護補助者活用の現状と課題—アメリカCertified Nursing Assistantとの比較から—，2014
- 7) Face touching : A frequent habit that has implications for hand hygiene American Journal of Infection Control
- 8) 坂本 史衣：基礎から学ぶ医療関連感染 改訂第3版 南江堂2019